

# 主要道道幕別大樹線 踏切除去工事「幕別跨線橋」

踏切の直前で、合流分岐する複数の道路が鋭角に交差し、慢性的に渋滞が発生。無用な事故の発生源にも。それを解消すべく「主要道道幕別大樹線踏切除去工事」が行われ、JR根室本線上で三路線が立体交差するという、ダイナミックな跨線橋「幕別跨線橋」が完成しました。安全面の向上はもちろん、農業や観光など地域経済にも、大きくプラスの効果をもたらしています。



北海道帯広土木現業所  
事業部事業課  
課長 福田 次男

## 渋滞がいつも発生。しかも危険

平成16年度から施工が始まった主要道道幕別大樹線踏切除去工事が無事完了し、平成20年12月10日から幕別跨線橋として供用が開始となりました。この事業は北海道帯広土木現業所が行い、以前は慢性的な渋滞や安全上の問題に悩まされていただけに、地域住民も完成を心待ちにしていたようです。

整備前は、主要道道幕別大樹線に、国道38号の補完ルートである一般道道明倫幕別停車場線や町道曙通が拮抗し、合流分岐しながら、JR根室本線「幕別東22号踏切」の平面交差という状況でした。工事を担当した事業部事業課道路第一係長の江端貢さんは「踏切の直前で一般道道明倫幕別



北海道帯広土木現業所  
事業部事業課道路第一係  
係長 江端 貢



工事前の渋滞発生の様子

停車場線と町道が交わるようになっており、遮断機が下りるとかなりひどい渋滞が発生していました。また幕別大樹線は幕別町市街の南北幹線道路であり、幕別市街から広尾、帯広や帯広空港に向かう重要な道路です。幕別東22号踏切は、JR幕別駅から約1kmのところにあるため踏切の遮断時間も長く、しかも踏切付近の交差角が鋭角に交差していたということからも、当時の状況が容易に想像できます」と話します。

踏切の南側には幕別高校があり、幕別大樹線と明倫幕別停車場線の両路線には、自転車道、歩行者道もなく、高校生が通学時に危ない思いをしていました。遮断に伴う事故も頻発しており、非常に危険な箇所であったことは否めません。幕別町としても幕別町都市計画道路の中でも重要な事業として捉え、北海道に対して協力を惜しみませんでした。

## ルートを何度も切り替え、通行止めを避ける



北海道帯広土木現業所  
事業部事業課道路第一係  
主任 **赤石 学**

前出の江端係長と同じ部署に所属する赤石学主任は「わたしたちは、工事の最終部分、いわばアンカーとして仕事をさせていただきましたが、JR根室本線の上で幕別大樹線、明倫幕別停車場線、曙通の三路線が立体的に交差する跨線橋と

いう発想が正直すごいと思いましたし、その発想をしっかりとカタチにできたことに喜びを感じます」と、自然と笑顔もほころびます。工事区間にあった猿別川にかかる旧猿別橋（明倫幕別停車場線）の解体にも携わりましたが、それを冬期間の4か月でやらなければならず、いくら十勝は雪が少ないとはいえ、時間との戦いでした。また、跨線橋区間の工事では、「供用の開始日が決まっただけに、胃が痛くなる思いをした人もいたはずですよ（笑）」と、今だからいえる打ち明け話も。

一緒に仕事をした同じ部署の福田課長は「こうした大きな工事になると業者さんもたくさん入り、それぞれの調整に骨を折りました。円滑に工事を進めるために、見えない部分で苦勞するものです」と振り返ります。

旧猿別橋に代わる新しい猿別橋は、平成19年度の段階で完成していたが、跨線橋部を新しいルートに切り替えるため、仮の道路を造り、何度も、何度も道筋が変わりました。ドライバーが「昨日とは道が違う。どう行くんだろう？」と混乱しないよう、看板などによるインフォメーションを徹底。また、前

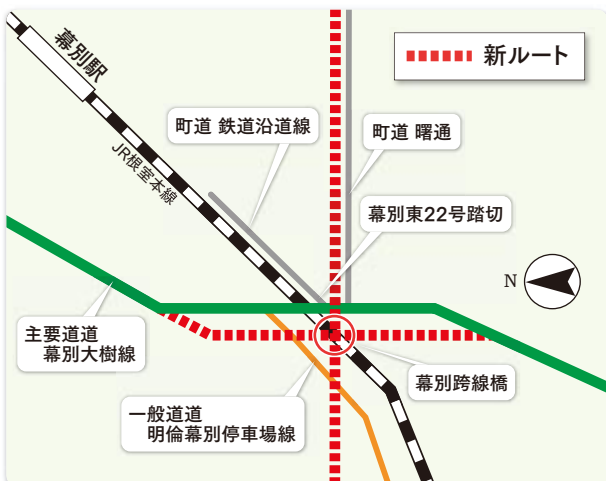
後の道路を跨線橋にタッチさせるため盛り土の必要がありましたが、そうした工事内容であっても幹線である幕別大樹線を含み通行止めを避けるよう工事を進捗させてきました。また冬にかかってくる時期だっただけに約10mの盛り土の沈下ということにも気を使いました。

## 歩行者や自転車にも優しく

工事の最大の特徴である線路上の立体交差という鉄道を巻き込んでの工事ということで、万が一何かトラブルが発生した場合、大きな事故にもなりかねない状況下。注意の上に注意を重ねたというのはもちろんのことですが、安全に無事故でこうして大きな事業が終了したことには、大きな意味があります。

拡幅工事も行われており、これまでは大型車のすれ違いに困難を要する場面も見られましたがそれも無くなり、供用後は散々頭を痛めてきた渋滞もウソのように解消され、車がスムーズに走行しています。さらに歩道を確保し、幕別高校に近いことから、跨線橋に高校生が自転車を押しながら下ろせるよう階段も設けるなど、安全対策もしっかり練られています。また植樹柵もあり、これからはきれいな街並づくりに貢献していく道路になっていくことでしょう。

「今回話をさせていただいているメンバーは、たまたま完成という華々しい部分に居合わせたわけですが、立案など施工以前から含めると多くの方のご尽力、もちろん幕別町さんのご協力、長い時間の中でのリレーがあってこそやっと出来たものです。ですから地域住民の方をはじめ、たくさんの方の思いがこの跨線橋に込められており、正直これで責任は果たせたのかなと、ほっと胸をなでおろしているところです」と、江端係長の安堵の表情が、言葉以上に多くのことを語っていました。



幕別跨線橋 位置図



完成後の様子